

第17期

一般陸曹候補生、自衛官候補生入隊式



松山駐屯地



豊川駐屯地



大久保駐屯地



大津駐屯地

混成団に新入隊員約1200名が教育入隊
桜舞う中、それぞれの駐屯地において教育を開始
中部方面混成団（団長 芝 伸彦 1等陸佐）は、令和3年4月6日大津駐屯地、8日松山駐屯地、9日豊川駐屯地、11日大久保駐屯地において、第17期一般陸曹候補生約950名、自衛官候補生女子約250名の入隊式を実施した。

い制服に身を包み緊張した面持ちで臨んだ入隊式は、国旗に敬礼、申告、宣誓、執行者式辞等の順で進行し、また、大津及び松山では音楽隊による国歌吹奏が行われた。教育は、6月下旬まで約3ヶ月間にわたり行われ、自衛官として必要な基礎的知識及び戦技を修得させる。



着隊の様子(大津、松山)



駐屯地での食事



階級章の縫付



被服の準備



基本教練



宣誓

新入隊員が

入隊式を迎えるまで



武器貸与

新入隊員たちは、駐屯地に到着してから入隊式を迎えるまでの約1週間、自衛官になるための最初の準備をします。それは、制服などに階級章を縫い付けたり、敬礼や行進などの動作を学ぶことです。ほとんどの新入隊員が寝食を共にする団体生活が初めてです。そして親元を離れ不安な気持ちになったりします。ですが、班長の指導や同期同士での励ましあいで、みんな見違えるような姿になり凛々しい姿で入隊式を迎えます。

入隊式の模様はYouTubeで配信しています！

詳しくは大津駐屯地のホームページをチェック！大津駐屯地 検索

混成団
web site

「たくさんの人を助けたい」

学生時代、友人を救助した際、皆が戸惑っている中での叱咤の行動が褒められました。

その時に人を助けることにやりがいを感じたことから入隊を決めました。

後悔がないように全力で教育に臨み、一人前の自衛官になりたいです。

大津314中
繁松 佳奈

「大切な人を守りたい」

私は、日本と大切な人を武力から守りたいという気持ちと人として強くなり様々な経験をしたいという思いから、自衛官を目指しました。

大切な人を全て守れる自衛官になりたいです。

豊川316中
村上 世名

新入隊員に聞いてみた

Q & A

入隊の動機と今後の抱負を
教えてください。

「父の背中を追って」

私は、幼い頃から自衛官として働く父親の姿に憧れていました。

また、災害派遣での自衛官の活動を被災者として目の当たりにしてとても感動したことから、自衛官になることを決意しました。

同期が一人も欠けることなく共に立派な自衛官になりたいです。

松山317中
白濱 剛司

「大和魂をもって」

私は、人を救う仕事がしたく消防士を目指していましたが、国を守るために働きたいと思い直して自衛隊に入隊しました。

大和魂をもって国に尽くせる自衛官になりたいです。

大久保333中
横山 和明

混成団長訓示

新入隊員の皆さん入隊おめでとう。約1週間前、駐屯地の桜も満開に咲き誇る中、皆さんは駐屯地の門をくぐったわけですが、心の中は、不安でいっぱい景色を楽しむどころではなかったかも知れません。朝起きてから寝るまで分刻みで時間に追われ、一日中仲間と共に過ごす団体生活に戸惑いを感じている隊員も多いと思う。しかし、それも自衛官として成長するための訓練である。世の中には数多の職業があるけれど、そのどれかが優れているということはない。みな社会に必要な職業だと思う。ただ、職業によって特性は異なる。皆が入隊する自衛隊には、他の職業と異なる特性が2つある。その1つは宣誓にもある「事に臨んでは危険を顧みず身をもって責務を完遂する。」命を懸けて責務を果たすこと。もう1つは、自衛隊は部隊に対して任務が付与され組織として力を発揮する個人プレーではないということである。

営内生活を含め、この新隊員教育ではその基礎を学ぶこととなる。教育間、時には辛いことや不安なこともあるかも知れないが、同期と助け合って乗り越えて貰いたい。

教育の中で人よりも力を得た隊員は、その力を仲間を支え助けるために使え。力が足りない隊員は、そこで諦めるな。仲間を頼れ、そしていつか仲間を助けられるよう強くなれ。一旦心を決めて君たちはこの道を選んだ。いちいち迷うな。皆の健闘を祈る。

中隊長はじめ、区隊長、区隊付、班長、班付の諸君、新隊員を宜しく頼む。



令和3年度 即応予備自衛官招集訓練開始式



訓練開始式

第47普通科連隊は、令和3年4月10日及び11日に姫路、日本原、米子、海田市、山口、善通寺、松山の、それぞれの駐屯地において令和3年度第1次即応予備自衛官招集訓練開始式を実施した。式は訓練意欲を向上させ、連隊の隊員として帰属意識の高揚を図ることを目的に行った。立会官である連隊長は、「即応予備自衛官と常備自衛官が共に訓練を行うことは、連隊の即応性の向上と総合戦闘力の最大限発揮のために極めて重要である。(一部抜粋)」と訓示した。

また、新規採用者に対する辞令書交付や武器貸与式も行った。



第47普通科連隊

第10代連隊長阿部 1佐着任



団長からの紹介



着任式

着任連隊長紹介



1等陸佐
阿部 慎治

宮城県出身 昭和40年生れ

主要勤務歴

評価支援隊中隊長
陸上幕僚監部調査部
陸上幕僚監部運用支援・情報部
第1普通科連隊第3科長
西部方面総監部防衛部
部隊訓練評価隊評価分析科長
第22普通科連隊副連隊長
研究本部総務部
中央業務支援隊総務部長
第28普通科連隊長
富士学校管理部演習場管理課長
現職

要望事項 1 正しく遅しく 2 明るく前向きに

第47普通科連隊長着任式を実施
第47普通科連隊(連隊長 阿部 慎治 1等陸佐)は、令和3年3月15日海田市駐屯地において、混成団長立会の下、着任式を実施した。

祝 御栄転



送別

第9代連隊長 佐藤 1佐離任
令和3年3月15日付で陸上幕僚監部運用支援・訓練部訓練課付(総務省消防庁へ出向)へ御栄転されました。

49普連が新隊員教育を初担任 第109教育大隊と連携



教育隊長
第49普通科連隊副連隊長

2等陸佐 南 健志

私自身、これまで新隊員教育に携わった経験はなく、初めてのチャレンジとなります。50歳を超えた今、自分の息子と同年代のピュアな若者達を一から鍛えることに、ワクワクと胸躍る気持ちでいっぱいであり、深淵とした元気な隊員育成を図ります。また、316中隊の基幹要員は、豊川駐屯地の状況に不慣れではありますが、各種調整に戸惑いながらもしっかり準備し、教育に臨んでくれています。連隊の隊員に対しても活模範となるよう指導しており、双方にとって爽やかな刺激を受けつつ隊務に当たっています。



第316共通教育中隊長

1等陸尉 宮崎 忠和

今後自衛官として活躍していける良質な隊員を育成していけるよう頑張りたいと思います。
また、団本部や大隊本部から離れているので苦心する場面もありますが、第49普通科連隊としっかり連携を図り、より良い教育を実施していきたいと思っています。

初の試みに対しての意気込みをインタビュー

即応予備自衛官招集訓練開始



衛生小隊での訓練



施設作業小隊での訓練

第49普通科連隊は令和3年4月10日から金沢、豊川、春日井、久居、大久保、伊丹、信太山の、それぞれの駐屯地において、令和3年度第1次即応予備自衛官招集訓練を開始した。

即応予備自衛官は非常勤の特別職国家公務員として、普段はそれぞれの職業に従事しながら、必要な知識・技能を確保するため、本訓練に参加する。

第1次訓練では、主に、特技訓練、健康診断、射撃予習、体力検定、救急法検定、格闘検定等を行う。



補給品の積載

第49普通科連隊(連隊長 関谷 拓郎 1等陸佐)は、令和3年3月24日に災害対処準備訓練を実施した。

災害対処能力及び災害対処計画の実効性向上を図る事を目的とし、呼集態勢の確立、円滑な派遣準備及び業務隊からの

円滑な補給品受領を主要演習項目として訓練した。

巨大地震発生から訓練が開始された各隊員が示された行動を整斉と行い、派遣態勢を速やかに確立した。

特に、物品受領・積載等の準備に要する時間的尺度を得て、目的を達成した。



49普連

災害対処準備訓練



第7期陸曹中級課程総合訓練「山地潜入」



積雪と泥濘の中を機動

積雪寒冷に打ち克ち任務完遂

第4陸曹教育隊は、令和3年2月18日から22日の間、あいはら野演習場及び長池演習場において第7期陸曹中級課程総合訓練を実施した。

訓練は、小銃小隊長等としての状況判断、実員指揮能力の向上及びフロロシップを醸成することともに、戦闘員としての基礎を体得させることを目的として行われた。

積雪、寒冷、滑りやすい足場が容赦なく体力を奪う中、学生たちは、4夜5日にわたる作戦行動を完遂し、訓練を終了した。

様々な職種が集う陸曹中級課程において、中には入隊以来最も過酷な訓練となった隊員もいたようであるが、駐屯地に帰還した彼ら(彼女ら)の顔は、一様に晴れやかであった。

陸曹候補生課程修了式

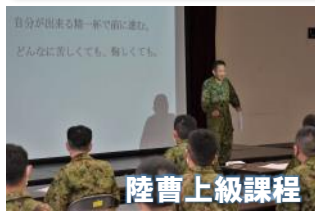


第4陸曹教育隊は、令和3年3月24日、第138期(2次)陸曹候補生(共中)約130名及び第13期(普中)8期陸曹候補生(普中)約190名の修了式を実施した。



第4陸曹教育隊

令和3年度各種課程教育を開始



団長講話



陸曹候補生課程 入校式



生徒陸曹候補生課程 小銃分隊の攻撃

初期陸曹特技課程 迫撃砲取扱操作



陸曹候補生課程 入校式

第4陸曹教育隊(隊長 長谷部 浩司 2等陸佐)は、令和3年度の各種課程教育を開始した。

隊は、第200期陸曹上級課程約70名、第139期(1次)陸曹候補生約50名、第138期初級陸曹特約約180名、第64期生徒陸曹候補生約40名、第75期陸曹基礎英語約7名、合計約350名の学生を受け入れ、任務を完遂し得る戦闘員並びに部隊の原動力となる陸曹を育成していく。